



健診ぶらすのご案内

事前予約は不要です。当日、受付で料金を添えてお申し込み下さい。

個人情報厳守され、検査結果は事業所には報告されません。

総合判定にも反映しません。

県内初!

超悪玉コレステロール検査

2,900円 (税込)

心筋梗塞や脳梗塞の原因となる動脈硬化を引き起こす超悪玉コレステロール。まずは一度、調べてみませんか。

新型コロナウイルス抗体 (定量) 検査

3,000円 (税込)

抗体量を測定し、ワクチン接種の効果を調べてみませんか。

当会おすすめ

骨粗しょう症対策として

ビタミンD検査

2,000円 (税込)

受診率 第3位

アレルギー検査

(主要な39種類を検査) 9,400円 (税込)

生活習慣病が気になる方に

糖尿病ハイリスク検査

※空腹時限定 (食後10時間以上)

1,500円 (税込)

心臓病リスクマーカー検査

1,700円 (税込)

高血圧対策として

推定塩分・カリウム摂取量

800円 (税込)

がんが気になる方に

受診率 第2位

ヘリコバクター・ピロリ抗体検査

1,800円 (税込)

胃がんハイリスク(ABC)検診

2,700円 (税込)

前立腺検査 (男性のみ)

2,400円 (税込)

肝炎検査(B型・C型)

2,400円 (税込)

アミノインデックス® 検査

※空腹時 (食後10時間以上) かつ午前中採血限定。
薬剤やサプリメントを服用した方、妊娠中の方は
正確な検査値を求められない場合があります。

23,100円 (税込)

女性におすすめ

更年期対策として

女性ホルモン検査

3,100円 (税込)

関節リウマチ検査

(男性も検査可)

2,400円 (税込)

甲状腺刺激ホルモン検査

(男性も検査可)

1,100円 (税込)

血清フェリチン検査

(男性も検査可)

1,400円 (税込)

検査のご説明

超悪玉コレステロール 心筋梗塞や脳梗塞の原因となる動脈硬化を引き起こす超悪玉コレステロールを調べます。

新型コロナウイルス抗体(定量)検査 過去に新型コロナウイルスに感染したことがあるか調べます。またワクチン接種後、ウイルスに対する免疫を獲得しているか確認できます。ただし、いつまで免疫(陽性)が続くかは現在調査中です。

ビタミンD検査 カルシウムの吸収、骨代謝を担うビタミンDの濃度を測定し、骨折のリスクを予測します。

アレルギー検査

検査項目:Viewアレルギー39;室内塵(ヤケヒョウダニ、ハウスダスト)、動物・昆虫(ネコ、イヌ、ガ、ゴキブリ)、樹木・雑草花粉(スギ、ヒノキ、ハンノキ、シラカンバ、カモガヤ、オオアワガエリ、ブタクサ、ヨモギ)、カビその他(アルテルナリア、アスペルギルス、カンジダ、マラセチア、ラテックス)、食品(卵白、オボムコイド、牛乳、コムギ、ピーナッツ、大豆、ソバ、ゴマ、米、エビ、カニ、キウイ、リンゴ、バナナ、マグロ、サケ、サバ、牛肉、鶏肉、豚肉)

ヘリコバクター・ピロリ抗体検査

胃がんの98%はピロリ菌によるものです。その感染の有無を検査します。

胃がんハイリスク(ABC)検診

ピロリ菌の感染の有無と、ペプシノゲンにより胃粘膜の萎縮の程度を検査して胃がんになる危険度を調べます。

前立腺検査

PSAは前立腺がんの代表的なリスクマーカーとして利用されています。

肝炎検査(B型・C型)

肝炎、肝がんの原因となるB型・C型肝炎ウイルスへの感染を調べます。

アミノインデックス[®]検査

胃、肺、大腸、膵臓、前立腺、乳腺、子宮・卵巣がんになるリスク(危険度)を調べます。
※空腹時(食後10時間以上)かつ午前中採血限定。薬剤やサプリメントを服用した方、妊娠中の方は正確な検査値を得られない場合があります。

糖尿病ハイリスク検査

血糖を下げる作用のあるインスリンの量と、インスリンがしっかり働いているのかを検査します。
※空腹時限定(食後10時間以上)

心臓病リスクマーカー検査

心臓の働きが悪くなっていないか検査します。心不全になる危険性の予測ができます。

推定塩分・カリウム摂取量

塩分を取り過ぎると血圧が上昇したり、腎臓や心臓にかかる負担が大きくなると言われています。カリウムは体内の余分な塩分を排出し、血圧を下げる働きがあります。推定塩分・カリウム摂取量を調べることで塩分とカリウムの体内バランスを客観的に知ることができます。

女性ホルモン検査

女性ホルモン(エストロジオールと卵胞刺激ホルモン)を検査します。ホルモンのバランスが崩れると更年期特有の症状があらわれてきます。

関節リウマチ検査

関節リウマチに特異的な物質(抗CCP抗体)を検査します。早期診断が可能です。

甲状腺刺激ホルモン検査

代謝を正常に保つ大切な働きをする甲状腺刺激ホルモンを検査します。甲状腺刺激ホルモンが多くなったり、少なくなったりすると様々な症状が現れます。

血清フェリチン検査

貯蔵鉄ともいわれ、鉄を蓄えることができる血清フェリチンを検査します。この値が低い場合は、体内での鉄が不足していますので、貧血の原因となります。